

平成二十四年度 一般会計決算

賛成多数で認定

質疑

▽財政運営について

問 実質単年度収支が赤字になっている。厳しい財政運営というが、内容を聞かせてほしい。

答 町税については、予想を超えた落ち込みとなり、財政調整基金で賄っていますが、税収を見きわめ、歳入歳出のバランスを注視しながら財政運営に努めています。

▽行政情報メールについて

問 行政情報メールについては、登録も情報の発信も少ないような気がするが。

答 行政情報メールは、平成二十四年十月に整備し、町の情報発信の環境を整備しました。多くの方に登録をしていただければ、各課局が多くの発信をするよう指導いたします。

▽町内循環バス運行について

問 町内循環バス運行に関連して、タクシー券を考えているようだが、どんな内容なのか。

答 町内循環バス運行による利用者は、数年横ばい状態にあります。また、町内循環バスにかわるものとして、タクシー券補助を検討しています。

▽防災訓練について

問 防災訓練は「評価できる」というが、参加人数が少なかったのではないのか。

答 行政区にお願いして実施している災害図上訓練は、地元の考えにより実施したものであり、参加人数が少ない行政区もありましたが、効果はあったものと考えます。

▽広告掲載料について

問 美里町ホームページには広告掲載があるが、広報みさとへも広告掲載はできるのか。

答 美里町ホームページには三十六件の広告掲載があります。また、広報みさとについても広告掲載ができますが、掲載の申し込みがありません。

▽町税収入の課題と対策について

問 町税収入の課題と対策について、滞納者対策や新たな工夫については、どのように考えているのか。

答 大手企業の法人税が予想外の減収となり、影響がありました。また、滞納者対策や新たな工夫については、滞納処分等の強化により、収納率の向上を図りたいと考えます。

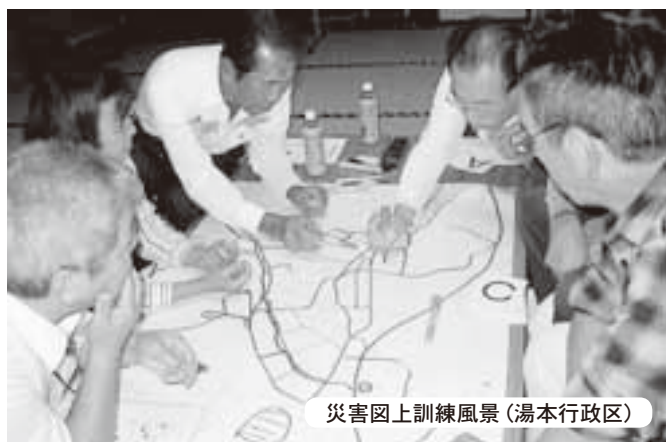
▽敬老会について

問 敬老会の今後のあり方について、考えをお聞かせください。

答 来年度以降の敬老会については、行政区にお願いするとしても、町として何をお願いするかも含めて、担当レベルで検討しています。



行政情報メール



災害図上訓練風景(湯本行政区)



いきいき健康体操

▽東北地方応援宿泊補助金制度について

問 東北地方応援宿泊補助金制度は、もっと続けるべきではないのか。

答 平成二十三年十月からスタートし、平成二十四年度で終了しました。今後は、保養所利用制度を活用いたいただきたいと思えます。東北地方応援宿泊補助金制度は、検討課題とさせていただきます。

▽健康づくりの方策について

問 健康づくりの方策について、お聞きしたい。

答 健康づくりについては、アドバイザーを招き、町の問題や住民の要望を取り入れながら、町民の健康づくりの意識づけをしたいと考えています。



「健康でときめき隊」によるワークショップ

▽高齢者運転免許証自主返納支援事業について

問 高齢者運転免許証自主返納支援事業について伺いたい。

答 七十歳以上の方で、運転免許証を自主的に返納した方については、三年間有効の二万円分のタクシー券を交付しています。

▽寄居パーキングエリアスマートインターチェンジについて

問 道路新設改良費の執行率が低い理由と、寄居パーキングエリアスマートインターチェンジの進捗状況について聞きたい。

答 道路改良予定路線の土地買収ができず、改良工事ができなかったことにより、予算執行率が低い状況です。また、寄居パーキングエリアスマートインターチェンジの進捗状況については、地元からの要望を受け、寄居方面のアクセス道路の線形を一部調整中であり、用地測量や土地鑑定評価、用地買収が予定どおりスタートできていません。

▽谷池整備について

問 土地改良事業により、谷池整備が終わり、大雨の際も安心できるのか。

答 農業用ため池としての改良工事を行ないました。ヘドロを九十センチメートル余りしゅんせつしたことにより、今まで以上に水のたまる容量が増

えましたが、大雨の際は短時間の貯水と思われず。

▽学力向上対策の根本について

問 学力向上対策の課題として、根本となるものは何か。また、教職員のレベルアップや創意工夫もしているのか。

答 学力向上対策としては、基礎学力の定着・獲得を目指し、各学校で努力しています。例えば中学校では、夜間の補習授業を先生みずから行なっています。先生方の努力もあり、保護者の協力もお願いしています。

▽太陽光発電システムについて

問 学校施設での自然エネルギー等の活用を、どのように考えているのか。



美里中学校「太陽光パネル」

▽各種講座活動の展開について

答 美里中学校の太陽光発電システムの効果を生徒は感じることができると、自然エネルギー等の教育には大変役立つと感じています。

問 生涯学習社会を築くため、スポーツ・芸術・文化活動などに自由に参加し、学習することができる環境整備を行ない、各種講座活動を展開したのか。

答 町民一人ひとりが、いつも元気で、はつらつ・いきいき・のびのびと暮らせるよう、前年並みという考えではなく、工夫をして、町民の参加や活動を呼びかけています。



そば打ち